



【開室時間】火～金曜日 10:00～20:30
土・日曜日 10:00～17:00
【休室日】毎週月曜日

※貸し出し冊数は4冊まで、期限は2週間です

今月のこの1冊

サウンド・オブ・サイレンス

五十嵐 貴久 著

“Sound of Silence”といえば、40年余り前のサイモン&ガーファングルの名曲を連想する。しかし本書は、文字通り音のない世界に生きる少女たちの物語である。聴覚障害のある同級生の春香たちのダンスチームをサポートする夏子の語りで話がすすんでいく。

音が聞こえなくても、リズムを感じる。手振りや表情、携帯電話を駆使しておしゃべりする。彼女たちは音がなくてもダンスを踊る。曲やステップの種類が判らないまま読んでいてもコンテストの場面は臨場感にあふれている。



新着本案内 (主なもの)

★ 一般書 ★

- ・「夢の花、咲く」 梶よう子
- ・「もういちど生まれる」 朝井リョウ
- ・「暗闇で踊れ」 馳星周
- ・「極北ラブソディ」 海堂尊
- ・「お別れの、そのあとで」 伊藤たかみ
- ・「銀婚式」 篠田節子
- ・「こころのつづき」 森浩美

★ 児童書 ★

- ・「トモダチックリの守り人」 吉富多美
- ・「シールの星」 岡田淳
- ・「ノミちゃんのすてきなベット」 ルイス・スロボトキン
- ・「リンデ」 ときありえ
- ・「あさになったのでまどをあけますよ」 荒井良二

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内容 「たぬきのポンポコ」をつくります

持ち物 ハサミ カラーペン

日時 2月18日(土) 10:00～

場所 町民センター2階 小会議室A

申し込みは直接図書館へ または、☎82-5221

◇2月のおはなし会 (第2土曜日、第3水曜日) ◇

日時 2月11日(土) 10:30～

2月15日(水) 15:00～

場所 町民センター3階図書館

申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう！

● 家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動の定着・推進を図ります。

*文芸

開成町俳句協会

俳句

マスクかけいつも笑顔の郵便夫
朝早くいつも行きかうマスクの子
葉をふるい裏の樺も冬眠す
マスクして終日癒す医師の告げ

遠藤まつ子
濱本 主雄
遠藤マツエ
鳥海美代子

芝田 みち子 選

マスクかけ心を閉ざす日もありぬ
遠藤美津子

マスクが今月の題マスクをかけることよって口を開く。そのことよって「心を閉す」ようだと表現。そんな日もあるのだ。

近藤 正臣 選

ともしび短歌会

短歌

十二月詠

柿・みかん・水引早も供へたり
仏間にひときは秋を呼び込む
府川ハツエ

具体的な物名を詠み込むことにより、季節感が一層鮮明になった。普段から、仏間には果物や草花を供え、四季の変化を演出し、故人を偲び対話する、信仰心の篤いことが歌を通じて伝わってくる。

葉を落とし花梨の枝に残る実は
冬陽のなかに深む黄の色
諸星 末子

成熟した花梨の実は、楕円形で黄色に変色する。そして、果糖・ビタミンCの他、豊富な栄養素を含み香ばしい香りを発する。結句は、歌全体の情景の中で、前述の特徴を見事に凝縮させている。

象なれば一度は原野を駆ける夢
見たらむウメ子小田原に死す
石井はま江

ウメ子は、戦後の復興期、インドから来て、60年近く飼育され、人気を呼んだ象。嘗て多くの人達には、見物し和まされたに違いない。ウメ子の生涯に思いを寄せ、心情を察しつつ、謝意を表した歌。



ぶらりと歩きながら開成町の文化を発見、歴史を再確認してみませんか。開成町に残る遺蹟を紹介します。



唯念六字名号塔



西福寺山門右側



下延沢西福寺(曹洞宗)山門前右側(嘉永四年造立)と、上島公民館前の道端(嘉永五年造立)の二カ所に独特の筆法で「南無阿彌陀佛」と彫られた石の角柱が建っています。この石塔は幕末から明治にかけて、開成町域の村を含めて、駿河・相模・甲斐・伊豆・武蔵にわたり念仏信仰を浸透させた木食僧唯念の「札持塔」です。唯念は寛政元(一七八九)年、肥後(熊本県)八代の藩士滝沢家に生まれ、十四歳の時に江戸に出て仏門に入りました。二十二歳のとき師に従って北海道大雪山善光寺に入り、諸国を遍歴しながら修行をし、天保元(一八三〇)年に至って、静岡県駿東郡小山町上野奥の沢に小庵を建立し、この地を根拠として念仏を唱え、天下泰平、国土安穩、村内安全などの布教に専念しました。当時駿州御厨(小山町・御殿場市)の村々は、その多くが小田原藩に属していたので足柄地方と共に布教し易かったと思われ、郡内にも六字名号塔が多く見られます。明治十三(一八八〇)年、九一歳の高僧にて入寂(僧が没すること)され、奥の沢にある開山堂に墓地があります。

唯念の六字名号の塔は、小山町の愛好者の方々の調査により、その数が五百から千基近くあるとされ、着々と研究が進められている事を申し添えます。

(文責 文化財保護委員会 諸星 光)



松田警察署
延沢駐在所 ☎83-5434
吉田島駐在所 ☎83-5457

振り込め詐欺にご注意を！

振り込め詐欺の被害が後を絶ちません。子どもや孫などの親族を装って現金をだまし取るオレオレ詐欺や還付金詐欺をはじめとした振り込め詐欺の被害が後を絶ちません。昨年11月末までの県内の振り込め詐欺の被害認知件数は807件で、これは一昨年の同時期と比べて99件の増加です。特に、オレオレ詐欺の被害が全体の約96%を占めています。

詐欺の手口

●オレオレ詐欺の場合
事前に親族を装って犯人が電話をかけてきます。その際、「風邪をひいて声が変」「携帯電話が壊れたので、別の電話からかけている」などと言ってきます。その後、様々な口実で現金を要求してきますが、「自分は行けないから他の人に取りに行かせる」と言って、自宅まで現金や通帳を取りに来るケースが増えています。

●こんな口実で現金を要求してきます！
・会社の通帳(または小切手など)が入ったカバンを電車に置き忘れた。
・会社の金を使い込んでしまった。
・女性を妊娠させてしまった。
・警察官や金融機関の職員を装った詐欺の場合

警察官を名乗る犯人が電話で「振り込め詐欺犯を逮捕したらあなた名義の偽造カードが出ました。口座が悪用されています。可能性ががあります。銀行の職員がうかがいますので、カードを預けてください」と言い、キャッシュカードや通帳をだまし取る。

少しでもおかしいと感じたら、決してお金を振り込まず、家族や警察にご相談ください。

松田警察署 ☎82-0110